

## 〈家庭科〉 5年

### 現在の分析

#### 〈家庭生活の関心・意欲・態度〉

- ・初めての教科で大変意欲的に取り組んでいる。「家族に作ってあげたい」など、自分で作る調理実習や裁縫実習は特に興味を示す児童が多い。
- ・調理や裁縫など、できることが増えていくのが「うれしい」といった姿勢で学習に臨んでいる。

#### 〈生活を創意工夫する能力〉

- ・食品にあった切り方やゆで方、手縫いのいろいろな縫い方など、工夫しながら実践している。また、友達と相談しながら友達の考えを取り入れている。
- ・手縫いで作品づくりでは、自分なりの工夫を凝らし取り組んでいる。

#### 〈生活の技能〉

- ・調理実習で使うガスコンロや調理用具は、安全に正しく使うことができ、湯をわかしてお茶を入れたり、ゆで野菜を作ったりすることができる。手縫いの基礎的な技能を習得しようとしている。

#### 〈家庭生活についての知識理解〉

- ・家庭の仕事への協力の大切さは理解している。調理や手縫いに必要な材料や用具の安全な扱い方、調味料の正しい計量の仕方、簡単な手縫いの仕方について理解している。

### 重点課題

#### 家庭生活の関心・意欲・態度

- ・家庭科で学習した調理と裁縫に関してのことは、家庭でも実践する児童が多い。調理や裁縫以外においても、学習したことを家庭で家族と一緒に実践したくなるような活動をよりふやしていく。
- ・エコについての学習はしているが、流しでの水の使い方、洗剤の量、手縫いで使う糸の長さなど、より環境に配慮し、意識して節約できるようにすることが課題。

#### 〈生活を創意工夫する能力〉

- ・生活経験の乏しい児童の中には、実生活と結びつけて考えることが難しい場面もあった。自分の生活に生かすことができるように、家庭との連携を図っていく。

#### 〈生活の技能〉

- ・基礎基本的な技能が定着するように、繰り返し実習を行い、家庭でも取り組むようにして、児童が経験する場を増やしていく。

#### 〈家庭生活についての知識理解〉

- ・児童によって理解の仕方がさまざまである。着実に学力の定着度がわかるためにも、必要に応じて、テストを行い、理解度を確認していくこと。足りないところは、その都度、手立てをうつこと。

### 授業改善策

#### 〈家庭生活の関心・意欲・態度〉

- ・学校での学習が、家庭生活の中で生かせるようにするために、家庭との連携をはかる工夫をする。
- ・「実践カード」を作り、それを評価するなど、家庭実践させるための手立てを工夫をする。
- ・環境に配慮した資料を教室に掲示し、無駄使いをしないように、実習の時間は声かけをする。意識して節約を心がけている児童を紹介する。

#### 〈生活を創意工夫する能力〉

- ・児童の経験には差があり、初めて学習する児童と家庭でやっている児童それぞれに自分なりに課題を決めて、ものづくりに取り組ませる。

#### 〈生活の技能〉

- ・調理実習では、少人数で班を作ることで、基礎的な調理技能を全員が体験できるようにする。
- ・技能評価のポイントを児童に伝え、技能向上させていく。

#### 〈家庭生活についての知識理解〉

- ・どの程度理解しているかを知るために、必要に応じてまとめのテストを実施する。
- ・発表の機会を増やして、自分の考えをまとめ、自分の言葉で説明できるようにする。